

目次

新入生等へEMS基本教育を
実施しました 1ページ

駐輪指導、放置自転車撤去等
について 2ページ

緊急事態テストの実施について
3ページ

産業廃棄物委託会社の視察に
ついて

医の庭の整備について
4ページ

診療系作業部会からのお知らせ
5ページ

EMS基本教育研修会の実施につ
いて 6ページ

出雲キャンパスEMS実施委員会
医学部及び附属病院
EMS対応委員会

新入生等へEMS基本 教育を実施しました

新年度を迎え、新たに採用となった看護師、医療職員、研修医及び新入生に対し、EMS基本教育を実施しました。今年度は看護師、医療職員と研修医は合同で実施しました。

また、学部学生については学生EMS推進員が学生の目線から活動推進を伝える良い機会となっています。この基本教育は、毎年実施されています。

また、5月には集合研修を計画していますので、是非ご参加ください。



医科研修医・歯科研修医研修



新任看護師、医療職員研修



大学院新入生オリエンテーション研修



学部新入生オリエンテーション研修

駐輪指導, 放置自転車撤去等について

5月7日～5月15日の間, 駐輪場での駐輪指導, 放置自転車撤去, 無許可自動車への貼紙等を実施します。

昨年度に引き続き, スポット契約の外部委託警備員2名による「駐輪指導及び駐輪場整備(放置自転車撤去)」 「未許可自家用車への通告文配布」を5月7日(木)から15日(金)の7日間(土・日曜日を除く)実施しますので, ご協力をお願いします。

計画は以下のとおりです。

5月7日～12日	サドル等に埃が溜まっている, またブレーキワイヤーが切れている等, 相当の期間使用されていないと思われる自転車に荷札を付けます。もし, 使用しているのに荷札が付いていた場合は, 外してください。
5月13日～15日	荷札が付いている自転車を撤去します。
全 期 間	駐輪場へ駐輪する際に, 整然と駐輪するよう指導します。 はみ出た自転車を駐輪場内に整理します。 駐車許可シールのない自動車に喚起の用紙を貼付します。 駐車違反の自動車に警告用紙を貼付します。

**5月7日～15日の間
駐輪指導を実施します。**

マナーを守り, 整然と駐輪場へ駐車しましょう!
上記の期間, 外部委託警備員による自転車・バイクの駐輪指導を実施しますので, ご協力をお願いします。
学生, 教職員の方は, 定められた駐輪場へ駐輪について, ご理解とご協力をお願いします。

**5月13日から15日まで
放置自転車を撤去します。**

所有物は最後まで責任を持ちましょう!
5月12日までに放置と思われる自転車に荷札を付けます。使用していたら, 外してください。
外していない自転車は撤去します。

自転車, バイクは決められた駐輪場へ駐輪し, 健康のためにも学内は徒歩で移動するようお願いいたします。



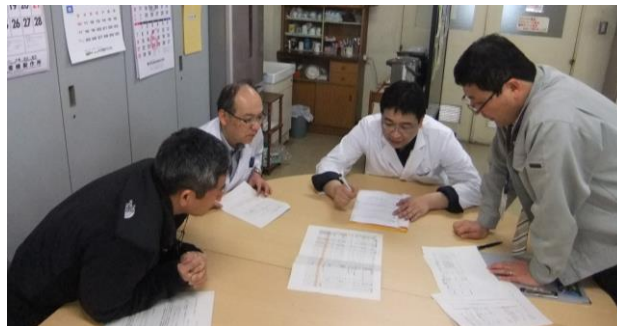
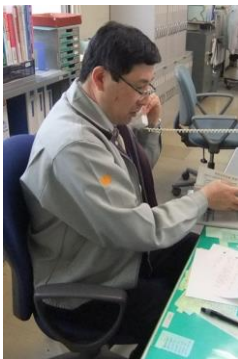
前年度の駐輪指導

有害化学物質である水銀の保有状況について、 緊急事態テストを実施しました。

出雲キャンパス(医学部、附属病院)では、水銀含有試薬及び水銀使用機器を使用している部署・講座、また使用はしていないものの保有・保管している部署・講座があります。水銀はその毒性から現行の法体系のなかでも使用・保有・管理には非常に厳しい規制と制約があります。

また、国連環境計画(UNEP)は、平成 21 年 2 月に開催された第 25 回 UNEP 管理理事会における合意に基づき、国際的な水銀の管理に関して法的拘束力のある文書(条約)を制定するため、平成 22 年に政府間交渉委員会(INC)を開始しました。2013 年 10 月には、条約の採択・署名のための外交会議が熊本市及び水俣市において開催され(水俣条約)、条約の採択・署名が行われるとともに、条約の採択後、発効までの間の暫定期間における対応、資金に関する取決め及び他の国際的な主体に関する事項に関する決議が採択されました。水俣条約は、水銀の一次採掘の禁止から貿易、水銀添加製品や製造工程での水銀利用、大気への排出や水・土壌への放出、水銀廃棄物に係る規制に至るまで、水銀が人の健康や環境に与えるリスクを低減するための包括的な規制を定める条約です。我が国は、水俣病の経験を踏まえ、世界における水銀汚染対策を強化すべきとの積極的な立場をとっています(https://www.env.go.jp/chemi/tmms/convention/treaty_outline.pdf)。

以上のことから、現保有水銀の厳格な管理と今後の水銀使用禁止ないしは削減が求められています。そこで本年度の緊急事態テストでは、外部関係部署から有害化学物質である水銀の調査依頼に対する対応として、平成 27 年 3 月 18 日に、出雲キャンパス全体の体系的な管理状況の確認を行いました。実験系作業部会と EMS 事務局による確認作業では、水銀使用機器の漏洩対策として有効な事例(水銀血圧計の保管時に血圧計のバルブを閉めた上にビニール袋で密閉する)や保有講座等での管理者・保管者が不在の際の確認方法等に検討が必要なこと等が見受けられました。



外部から水銀保有状況について照会の連絡があったとの想定

EMS 実験系作業部会員が召集し、出雲キャンパスの水銀保有状況を確認



講座での保有・保管状況を確認

産業廃棄物処理委託会社を視察しました

産業廃棄物を排出する事業者としその委託先である会社(収集運搬・処理処分)に実情を確認することを目的とし、島根大学医学部における産業廃棄物(実験廃液等)の回収処理業者と最終処分場の視察を行いました。

平成27年3月6日、会計課契約担当職員とEMS事務局職員は、実験廃液の最終処分場としてマニフェスト(産業廃棄物管理票)に記載されているアサヒプリテック(株)北九州工場と産業廃棄物最終処分場(ひびき灘開発(株))を、本学医学部が実験廃液の処分を委託しているアサヒプリテック(株)の北九州工場長の案内で視察しました。

実験廃液は、産業廃棄物処理業者アサヒプリテック(株)による回収後、重金属を含まない実験廃液はアサヒプリテック(株)の北九州工場に運ばれ、高温熱分解処理(ダイオキシンの発生を抑えるため、1,000℃以上の高温で燃焼)された後、焼却炉内に残った燃え殻を最終処分場へ廃棄されていました。実験廃液の処理は、マニフェストに記載されている通り、適切に処分されていることが確かめられました。また、環境への取り組みとして廃棄物処理場として工程で発生する水は全て焼却炉の冷却水として利用するクローズドシステムを取り入れており、敷地内の雨水等も工場周辺に側溝も設けて油分分離槽へ貯水し、pH及び油分を常時監視し、排水タンクへ移送し冷却水として処理していると説明を受けました。

最終処分場は、北九州市若松区の響灘に面した海岸を埋め立てる方法の処分場で、海中に堤防を建設し、堤防内を燃え殻、がれき、廃プラスチックなどで埋め立てているとのこと。処分場近くに海水浄化設備があり、堤防内の海水を活性炭などで処理した後、海へ放流していました。搬入物のほとんどが燃え殻のためか、刺激臭や腐敗臭のような悪臭はありませんでした。



医の庭が整備されました

医学部の講義棟と実習棟を結ぶ敷地に、全天候型の屋外パブリックスペース「医の庭」が整備されました。この整備により、「講義」と「実習」が密接に関わり、上級生と下級生の縦のつながりが実感できる空間が創出され、学生の医学を学ぶモチベーションや同時に整備された「国際交流ラウンジ」との一体的な活用により、各種イベント等を通じた学生間・地域間の国際交流の大幅な向上が期待されています。

出雲キャンパス内の他の施設と同様に、自転車は最寄の駐輪場に置くなど、快適な環境を維持するためにみなさまのご協力をお願いします。



医の庭

診療系作業部会からお知らせ

島根大学医学部附属病院ボランティア活動報告

平成 10 年に病院ボランティアが導入され、現在 18 名(内元職員 8 名)で活動しています。主な活動は、総合案内での案内(写真 1)、生け花の展示(写真 2)、患者図書室「ふらっと」での貸出し業務及び病棟巡回貸出の補助(写真 3)、小児病棟での読み聞かせや遊び相手、病院構内の環境美化活動です。その他に、学生や地域の方による清掃活動やボランティアコンサートがあります。

総合案内での活動状況は、玄関ホールに 2~3 名が常駐し、来院者の方で手助けを望まれていると思われる方への要望に対応しています。場所を尋ねられた時や、車椅子を使用されている患者さんの移動には可能な限り現場までの案内等、安心して受診、治療が受けてもらえるように心がけています。

医療サービス課の取り組み

医療サービス課内事務室、地域医療連携センター、医療相談室等では、主に下記の取り組みを行いました。また、廃棄物の分別はこれまでの活動により適切に行われ、ペットボトルのキャップ回収(ポリオワクチンへの寄付)も積極的に協力・実施しました。

- ① 複写機そばの要旨節約の掲示(課内、医療安全管理室等)
- ② 空調機電源の設定温度を厳守する旨の掲示
- ③ 構成員への島根大学環境方針最新版(2012 年)の配布・周知・啓蒙



写真 1
(外来患者さんの受付手続き等の介助・支援)



写真 2
玄関ホール内での生け花(小原琉)展示



写真 3 入院患者さんへの希望図書運搬

EMS 基本教育研修会の実施について

第1回、第2回のEMS基本教育を実施しますので、教職員、学生の皆さんはどちらかご都合の良い時に受講していただきますようお願いいたします。

- 第1回 日 時：平成27年5月15日（金）18時00分～19時00分
場 所：臨床講義棟2階 大講堂
- 第2回 日 時：平成27年5月20日（水）15時00分～16時00分
場 所：臨床講義棟2階 大講堂

講義者 医学部 EMS 対応委員会委員長 小林 裕太
各作業部会責任者 他

- 題 目 1. EMS 概要について
2. 平成26年度 EMS 活動報告及び平成27年度 EMS 目的・目標
及び実施計画
3. その他

なお、4月当初に新採用職員向け研修会を受講された職員は本研修会の参加は免除します。

EMS事務局からのお知らせ

EMS事務局では、みなさんから省エネのアイデアを募集しております。

我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら以下のEMS事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

学内関係者用には、EMS関係会議の議事録、EMS研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMSに関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

- 島根大学出雲キャンパス EMS 事務局
財務部施設企画課(出雲)環境マネジメント担当
TEL 0853-20-2549
FAX 0853-20-2049
E-Mail fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

- 島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」
出雲キャンパスでのEMS活動内
キャンパス環境投書箱



<http://www.shimane-u.ac.jp/qsysopen/AutoForm.asp?UserID=emsadmin&PageID=12>